1月臨時会開催

主な議案

～令和5年度刈谷市一般会計補正予算（第7号）を可決～

1月臨時会は1月30日に招集され、会期を1日間とし同日閉会しました。

議案について、反対意見がありましたが、採決の結果、原案のとおり可決しました。

条例議案

■刈谷市手数料条例の一部改正について

問　今回の戸籍法の一部改正により本籍地以外の市区町村で戸籍証明書等の交付が可能となったが、その理由は何か。

答　これまで戸籍情報は本籍地の市区町村で紙媒体によって管理されていたが、戸籍情報のネットワーク化が進み、現在では全ての市区町村で戸籍情報が電子化され、市区町村が保有する戸籍情報が法務省のシステムに集約され、全国の戸籍情報の利用が可能となったためである。

問　広域交付等に向けて本市はどのような準備を進めてきたのか。

答　本市では、戸籍法に対応するため、令和2年度から5年度にかけて、毎年、電子化等に向けたシステム改修等を行ってきた。今回の法改正による広域交付等は市民の方にとって利便性を感じてもらえるものと考えている。

補正予算議案

補正する額（一般会計）
3億1129万8千円

補正後の予算総額（一般会計）
670億9029万6千円

補正後の予算総額（全会計）
1027億5925万1千円

【事業】物価高騰対応重点支援給付金支給事業

問　行政のデジタル化が進む中、給付内容や確認事項が書かれた確認書を返送ではなく、電子申請による提出を行う自治体もあるが、本市が行わない理由は何か。

答　新たな手法を導入することで、システムの対応など新たな作業が発生するため、最も早く給付金の支給が行える方法として、これまでの給付金と同様に確認書の返送を用いた方法を採用した。

給付金の支給により
家計の負担軽減を図る

議決結果一覧表

（※…賛否が分かれたもの）

- 損害賠償の額を定める専決処分について　了承
- 刈谷市手数料条例の一部改正について（※）　可決
- 令和5年度刈谷市一般会計補正予算（第7号）　可決

1月臨時会提出議案の賛否

賛否が分かれたもの について掲載します。（○：賛成　×：反対）

議案名及び議決結果 ＼ 会派名及び議員名		自民クラブ									市民クラブ					清風クラブ		公明クラブ		無所属の議員		日本共産党議員団	にじいろの会	参政党	日本維新の会	議長	副議長
		大山 実	葛原 祐季	加藤 幹樹	近藤 澄男	揚張 慎一	加藤 廣行	外山 鉱一	山崎 高晴	稲垣 雅弘	佐々木隆教	伊藤 愛恵	鈴木 定晴	深谷 英貴	中嶋 祥元	佐原 充恭	上田 昌哉	新海 真規	星野 雅春	武藤美智代	谷口 睦生	鈴木 絹男	蜂須賀信明	山本シモ子	城内 志津	森島 公祐	三田 真弥	鈴木 正人	松永 寿
刈谷市手数料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	※	○

※議長のため、採決には加わらない

令和6年度予算関係

本会議での質疑

質問質疑では、市政の方針などを問いました。

本会議での質問質疑については、6～8ページの「質問質疑」を御覧ください。

委員会・分科会・本会議

質問質疑終了後、予算審査特別委員会を経て各分科会で審査しました。

3月21日に開催された予算審査特別委員会では、各分科会での審査の経過と結果が報告され、一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の各特別会計の計4議案に反対の意見がありましたが、採決の結果、賛成多数により、いずれも原案のとおり可決しました。

22日の本会議では、予算審査特別委員会の報告を受け、討論を行いました。

討論では、刈谷城の整備に向けた予算やマイナンバーカードと健康保険証を一体化する予算が含まれていることなどにより反対との意見がありましたが、採決の結果、議案はいずれも原案のとおり可決しました。

【分科会での主な質疑】

■企画総務

防災DX推進事業

問　導入するシステムの概要はどのようか。

答　自然災害などの危機情報の把握や対応に必要な情報を、SNS、気象データ、河川や道路カメラ等から収集し、AI技術を活用してリアルタイムに解析・可視化することで、災害時の迅速な情報収集や被害状況の把握を可能とするものである。また、災害現場に赴いた職員がスマートフォンの専用アプリから現場状況や位置情報を投稿することで、災害対策本部において対応状況をリアルタイムに把握することができる。

リアルタイムに情報を収集して
迅速な災害対応を

■福祉産業

産業イノベーション推進事業

問　CoDoものTechプロジェクトはどのような内容か。

答　市内の中高生や企業を対象に、最新テクノロジーに関するものづくりに取り組む事業である。プロジェクトは、3つのプログラムで構成されており、プログラミング言語を用いて、AIやIoT開発の基礎を学ぶ技術学習プログラム、中高生と企業が協同で成果物を製作する協同製作プログラム、協同製作した成果物を発表するプレゼンテーションを6日間にわたり実施している。

■建設

都市拠点活用推進事業

問　都市再生推進法人の役割と指定の対象となる団体はあるのか。

答　これからのまちづくりは、都市再生推進法人が町に関わる様々な人と一緒に防災、防犯、公共施設の活用や管理のほか、まちづくりのルールを策定するなどのエリアマネジメント活動により、中心的な役割を担い、活気とにぎわいの創出に取り組んでいくことが望ましいと考えている。都市再生推進法人の指定には、刈谷駅周辺でまちづくりに関する様々な活動を行っている団体を想定している。

■市民文教

子育てパパ応援事業

問　事業の内容とターゲットはどのようか。

答　主にゼロ歳児から2歳児を対象に、現在、小山託児ルームで月1回土曜日に開催のすくすくパパ広場に加えて、月1回平日にも保育士が父親向けのプログラムを行う育休パパ広場を開催するものである。また、出張子育て広場や2歳から就学前の子供を対象としたパパと一緒にわくわくマラソンといった、父親と一緒に体を動かし、親子の絆を深めるイベントも開催する。本事業は、主に子育て中の父親を対象とし、女性が多い子育て関連の行事には参加しにくいと感じる男性が気軽に参加してもらえればと考えている。

子育てへの不安感の緩和等により
男性の育児参加の促進を図る

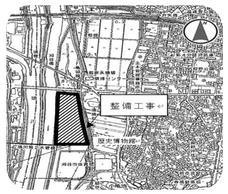
令和6年度予算に見る主要事業

逢妻川河川敷にスポーツ施設を整備

（（仮称）逢妻川河川敷運動広場整備事業）

市民のスポーツニーズへの対応と健康増進を図るため、逢妻川河川敷にサッカー場や多目的広場等のスポーツ施設を整備します。

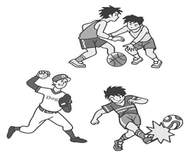
【事業箇所】逢妻町
【整備工事】約3.8ha



部活動の地域連携等を進めるために部活動コーディネーターを配置

（部活動指導者活用事業）

部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行を進めるため、学校、外部指導者、総合型地域スポーツクラブ等との連絡調整を行う部活動コーディネーターを新たに配置します。



中小企業とスタートアップ企業の連携を促進

（スタートアップ連携促進事業）

革新的なアイデアや技術を有するスタートアップ企業との連携を促進するためのプログラムやイベントを実施します。

【主な取組】
市内中小企業とスタートアップ企業とのマッチングイベントの開催など

スマート農業機器の導入を支援

（スマート農業総合推進事業）

農作業の省力化及び生産性の向上を図るため、ドローンや自動収穫ロボット等のスマート農業機器の導入に対して補助を行います。

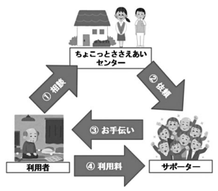
【対象経費】機器購入費
【補助率】３分の１
【補助額】個人 上限150万円
　　法人 上限250万円

在宅生活で抱えるちょっとした困りごとの解決を支援

（ちょこっとささえあい事業）

ちょっとした困りごとを解決するため、市民ボランティア活動センター内にちょこっとささえあいセンターを設置し、利用者とサポーターのマッチングを行います。

【対象】65歳以上の要支援・要介護認定者及び75歳以上の方



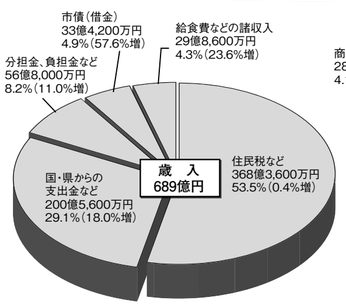
地域住民の健康増進と憩い・交流の場を創出

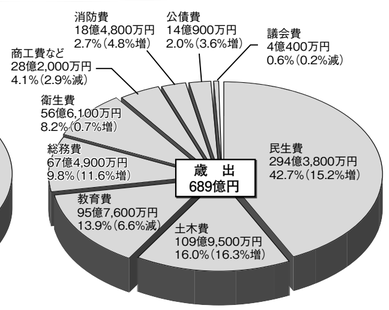
（三豊公園整備事業）

公園が不足する地域に、子どもの遊び場、地域住民の健康増進及び憩い・交流の場を創出するため、公園を整備します。

【事業箇所】野田町
【整備工事】約3,300㎡

一般会計の内訳　（ ）内は対前年度比





〈国・県からの支出金などの内訳〉国庫支出金、県支出金、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、　地方交付税、交通安全対策特別交付金
〈分担金、負担金などの内訳〉分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金
〈商工費などの内訳〉労働費、農林水産業費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費

（注）それぞれの数字は四捨五入等をしてそろえたため、総額や割合に一致していない場合があります。

6年度予算の総額

会計名	本年度	前年度比較	伸び率
予算総額	1,046億6,100万円	60億6,700万円	6.2%
一般会計	689億円	55億4,000万円	8.7%
特別会計	250億5,400万円	5億5,100万円	2.2%
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	6億5,700万円	▲1億8,700万円	▲22.1%
刈谷野田北部土地区画整理事業	1億4,100万円	1,900万円	15.6%
国民健康保険	117億500万円	1億1,900万円	1.0%
後期高齢者医療	22億3,400万円	3,400万円	1.5%
介護保険	103億1,700万円	5億6,500万円	5.8%
企業会計	107億700万円	▲2,300万円	▲0.2%
水道事業	45億2,900万円	6,400万円	1.4%
下水道事業	61億7,800万円	▲8,700万円	▲1.4%

※詳しくは、市ホームページの「予算のあらまし」を御覧ください